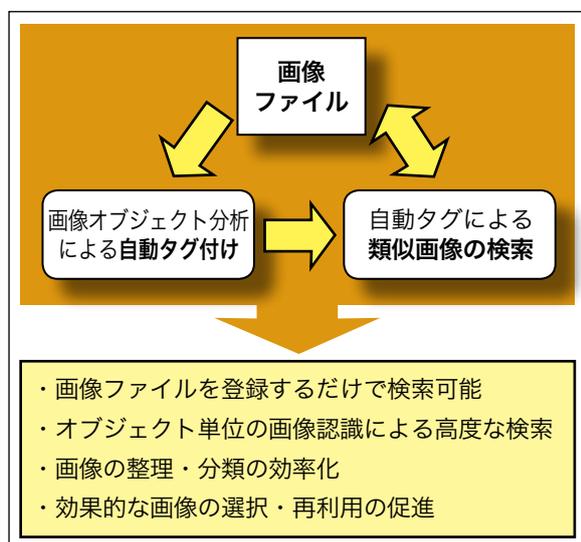
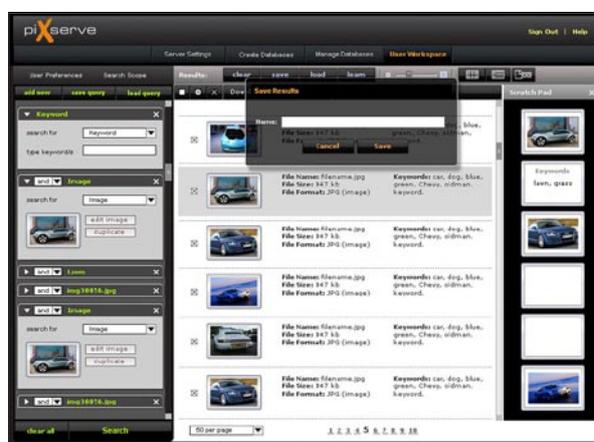


株式会社エステンイン京都、画像検索ソフトウェアの普及版を発売 ～ニーズの高い静止画像検索に特化した piXlogic社製「piXserve Workgroup Edition」をリリース～

株式会社エステンイン京都（本社：京都市右京区／社長：大原 節夫／大日本スクリーン製造株式会社が100%出資するグループ会社）はこのたび、米国・piXlogic, Inc（以下、piXlogic社）が開発する画像検索ソフトウェア「piXserve」の普及版として、新たに「piXserve Workgroup Edition」をラインアップ。日本国内の印刷・出版業界の主要企業を対象に、2011年7月に発売します。



piXserve Workgroup Editionの仕組みと特長



検索画面例

☆ この画像の印刷用データ（解像度300dpi）は、下記URLよりダウンロードできます。
(www.screen.co.jp/press/nr-photo/)

近年、インターネットの普及によるデジタルコンテンツの増大を受けて、画像認識技術を使ったサービスや製品へのニーズも高まりを見せており、セキュリティー、デジタルアセットマネジメント[※]、eコマース、モバイルコマースなどにおける大量のデジタル画像・映像の管理など、一般消費者から企業、教育・研究機関、政府に至るまで、幅広く活用されています。デジタルコンテンツは今後も一層の増大が予想され、その確認、分析、整理、分類、およびタグ（索引）付けには多くの労力が必要なため、コンテンツ管理に関するコスト削減と時間短縮が、組織にとって重要な課題となっています。

このような動向を背景に当社は、画像・動画認識技術で独自の地位を確立しているpiXlogic社の画像検索ソフトウェア「piXserve Standard Edition」を2010年9月にいち早く発売。デジタルコンテンツに関わるコストの低減、効率の向上を実現するほか、コンテンツを最大限に活用できるツールとして高い評価を得ています。今回発売する「piXserve Workgroup Edition」は、「piXserve Standard Edition」の持つ高度な画像検索機能はそのままに、対象をニーズの高いデジタル写真（静止画像）に限定したもので、類似画像検索、キーワードによる検索、類似画像からのキーワード推奨などの便利な機能を搭載。デジタル写真を駆使する出版・印刷業界のほか、あらゆる分野の企業におけるデザイン、広告、商標管理部門などにおいて、比較的小規模な組織内で手軽に活用できる製品となっています。

当社は「piXserve」を核としたSIサービスを新たに加え、今後も「確かな未来像」「分厚い技術力」「豊かな人間性」を経営理念に、長年培ったソフトウェア技術を生かして多様化するニーズに応え、関連業界の発展に貢献していきます。

※ デジタルアセットマネジメント (Digital Asset Management)

印刷、映像業界などにおいて、デジタル化された画像や映像素材を資産として管理し、最大限に活用するためのシステム。

* この製品は、7月7日(木)から9日(土)まで東京・有明の東京ビッグサイトで開催される世界最大規模の電子出版専門展示会「第15回 国際電子出版EXPO」に出展し、当社ブース(西2ホール1F・9-17)において、デモンストレーションを行います。

* 記載されている会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

<販売開始予定>

2011年7月7日

<国内希望販売価格(消費税別)>

600万円

<年間販売数(初年度)>

15セット

■ piXlogic社 (piXlogic, Inc)

1999年設立。米国・カリフォルニア州ロスアルトスに本社を置くベンチャー企業。代表者はJoseph Santucci氏。静止画・動画のコンテンツを、人間の視覚認知に近い方法で認識するソフトウェアを開発し、コンテンツ検索をはじめ、タグ自動生成、自動アラートなど、卓越した技術を保有している。政府機関および民間企業のコンテンツ管理、セキュリティー、モバイル関連などの分野を中心に、さまざまなソリューションを提供している。(URL: www.piXlogic.com)

<株式会社エステンナイン京都の概要>

所在地 : 京都市右京区西京極新明町13-1

設立 : 1997年7月1日

代表者 : 代表取締役社長 大原 節夫

資本金 : 5,000万円

従業員数 : 109人

主な業務 : 下記の分野のソフトウェア開発

- ・印刷、製版機器のシステムソフトウェア
- ・半導体製造装置、液晶製造装置の制御ソフトウェア
- ・マルチメディア・アプリケーション
- ・画像処理関連応用ソフトウェア
- ・制御系システム
- ・日本語組版編集ソフトウェア
- ・検査計測機器ソフトウェア
- ・ネットワークシステム、データベースシステム

URL : www.st-kyoto.co.jp